

科学技術・学術審議会学術分科会（第62回）における
学術研究に係る指標に関する主な意見
(科学技術基本計画のフォローアップ関係)

- 第5期基本計画の進捗を把握するために指標を見るということだが、指標が増えることで現場の負担が増し、さらに研究時間が削減されてしまうので、あまり細かい指標はできるだけない方がよい。研究時間に係る指標を入れていただくのはよいのではないか。
- 学術研究は研究者個人の自由な研究活動によるボトムアップの営みであり、その成果の創出は不確実性が高いため、長期の時間が必要。短期のアウトプットを測る指標は学術研究に関わる評価に適さないのではないか。
- アウトプットの指標だけではなく、自由な研究活動を保障する環境や実態に係る指標を加えるべきではないか。例えば、個人の自由な研究に使える一人当たりの研究費や研究時間の指標などのインプット指標も必要ではないか。
- 現場がネガティブに感じる指標よりもエンカレッジできる指標を入れるべきではないか。例えば、人材育成に係る指標として、女性の管理職の数や、研究者の流動性など入れるとよいのではないか。
- 引き続き、学術分科会で議論をしていくことが必要。

第4章 (1) 人材力の強化 (俯瞰マップ7 人材の育成確保・活躍促進、俯瞰マップ8 人材の多様化・流動化)

- ◆優秀な研究者の確保
- ◆最大限の能力・意欲の発揮
- ◆適材適所の活躍
- ◆STI人材の持続的確保のための基盤構築
- ◆人材の多様性の確保

人材力の強化の実現

- 研究者の研究時間

内在的動機による学術研究

■挑戦性、総合性、融合性、国際性の観点からの改革・強化

<科研費の改革・強化>

- 科研費の改革・強化

- 科研費の新規採択率の推移
- 科研費が関与した論文数の推移

<共同利用・共同研究体制の強化>

- 大学共同利用機関の改革・強化

- 共同利用・共同研究の公募・採択件数の推移

- 共同利用・共同研究拠点の改革・強化

- 学術研究の大型プロジェクトにおける共同利用・研究の外国人研究者数の推移

- 学術研究の大型プロジェクトの推進

- 研究者1人当たりの研究費の推移

- 研究設備の共同利用の促進

※両者の適切なバランス

戦略的・要請的な基礎研究

<戦略的創造研究推進事業の改革・強化>

- 客観的根拠に基づく戦略目標

- 改革・強化 (独創性・革新性重視)

※他で別途検討

<特に重視する研究の枠組み>

- 学際的・分野融合的な研究
(人・社・自然の連携は特に大事)

○国際共同研究

(国際研究ネットワーク構築)

<研究拠点の形成・活用>

- 世界トップレベル拠点の形成 等

オープンサイエンスの推進

政府資金の拡充と投資効果の最大化

- 総論文数の推移
- 総論文数の国際シェアの推移

◆多様な知の創出

知の基盤の強化 (量的観点)

- 総論文数に占める被引用回数トップ10%論文数割合の推移
- 総論文数に占める被引用回数トップ1%論文数割合の推移
- トップ10%論文数及び国際シェア
- トップ1%論文数及び国際シェア

知の基盤の強化 (質的観点)

- サイエンスマップにおける参加領域の推移

- 国際共著論文比率の推移

【目的】イノベーションの源である多様で卓越した知の創出

俯瞰マップ 学術研究・基礎研究推進(イメージ案)

基本計画

(目標)

- 総論文数の増加
- 総論文数に占める被引用回数トップ10%論文数の割合10%

(主要指標)

- 論文数・被引用回数トップ1%論文数及び国際シェア

指標イメージ

- 総論文数の推移
 - 総論文数に占める被引用回数トップ10%論文数割合の推移
 - 被引用回数トップ1%論文数及び国際シェア
 - 総論文数の国際シェアの推移
 - 総論文数に占める被引用回数トップ1%論文数割合の推移
 - 被引用回数トップ10%論文数及び国際シェア
 - サイエンスマップにおける参加領域の推移
 - 国際共著論文比率の推移
 - 研究者の研究時間
 - 研究者1人当たりの研究費の推移
 - 科研費の新規採択率の推移
 - 科研費が関与した論文数の推移
 - 大学共同利用機関及び共同利用・共同研究拠点における共同利用・共同研究の公募・採択件数の推移
 - 学術研究の大型プロジェクトにおける共同利用・研究の外国人研究者数の推移
- +「人材力の強化」「研究基盤の強化」「資金改革の強化」に係る指標群
- +NISTEP定点調査(意識調査)